

社会情報学会 2013年度 第1回情報政策研究会

日時：7月23日（火）18時～20時

場所：上智大学 7号館 4階 共用A会議室

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya

主催：一般社団法人社会情報学会 情報政策研究会

共催：上智大学 新聞学科

テーマ：オープンデータ政策の経緯と、新たな政府IT戦略の下での今後の展望

報告者：平本健二氏（経済産業省CIO補佐官 兼 政府CIO補佐官）

コメント：庄司昌彦（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 講師／主任研究員）

【趣旨】

欧米各国だけではなく世界的にオープンデータ政策への取り組みが進んでいる。これは、公共機関が保有するデータの利用条件を緩和し、機械可読な形式など利用しやすい形による公開で利活用を促し、政府の透明性向上や官民協働の促進、経済効果の創出等に結びつけることを目指すものである。

日本では経済産業省が実験サイト「オープンガバメントラボ」を開設するなど一部の取り組みが進んでいたが、2012年7月にIT戦略本部で「電子行政オープンデータ戦略」が策定されてからは、実証実験や省庁横断的な実務的検討が開始され、オープンデータ政策に関する取り組みが本格的に進み始めている。また先進的な地方自治体や民間の支援組織などの活動も活発化している。

2013年6月に策定された政府の新たなIT戦略「世界最先端IT国家創造宣言」では、このオープンデータが重要項目のひとつとして採り上げられた。これらの政策の経緯と、新たな政府IT戦略のもとでの今後の展望を平本健二氏（経済産業省CIO補佐官兼 政府CIO補佐官）にご報告いただき、参加者でディスカッションを行いたい。

申込：不要。直接会場へおいで下さい。